



江津市敬川町の住宅の庭に押し寄せた土砂を取り除く石見智翠館高校の生徒たち

8/30  
いづれも  
新報

豪雨災害の  
江津・敬川

# 鍛えた体で土砂を除去

石見智翠館高  
運動部員 50人ボランティア

県西部を襲った豪雨災害を受け、石見智翠館高校(江津市渡津町)の運動部員50人が29日、土砂流入の被害を受けた江津市敬川町の住宅街にボランティアに訪れ、日ごろ鍛えた

体を駆使して、後片付け作業に汗を流した。この日は同校スポーツコースの2年生が同町を訪れ、地元住民や企業から参加したボランティアと力を合わせ、住宅の庭などに堆

積した土砂を除去。重機が入らない細い路地が入り組んだ場所で、生徒らはスコップで懸命に作業を進めた。ラグビー部の岩田晃希君(17)は「応援してもらっている皆さんへ

の恩返しのできる気持ちで参加した。被害が大きくて驚いたが、少しでも早く復興してほしい」と話し、したたる汗をぬぐった。

ボランティアを受け付ける江津市社会福祉協議会によると、この日は同校生徒を含め計140人を、被害が大きかった敬川、跡市、有福温泉など市内各町へ派遣。30日は160

人を送る予定という。一方、この日は同市内の小学校5校、中学校3校で2学期がスタート。このうち川波小

や桜江小などに向かう通学路の一部に道路陥没などの被害があるため、スクールバスのルートを変更した。